

令和6年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	令和6年12月6日（金）福岡第2合同庁舎2階 共用第5・6会議室		
委員	牧角 龍憲（大学名誉教授）	松藤 泰典（大学名誉教授）	
	諏佐 マリ（大学准教授）	柴田 祐二（公認会計士）	
	本岡 大祐（弁護士）		

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和6年7月1日 ～ 令和6年9月30日			
審議対象件数	152件			
1. 入札状況について（入札参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について）				
抽出件数	4件	（審議概要） 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 談合疑義案件情報について 4 低入札価格調査情報について 5 抽出事案について		
建設工事	一般競争 （基準額以上）			1件
	一般競争 （基準額未満）			1件
	随意契約			0件
建設コンサルタント業務等	2件			
	意見・質問	回 答		
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	【建設工事等発注実績について】 特に意見なし 【指名停止の措置状況について】 特に意見なし 【談合疑義案件情報について】 該当案件なし 【低入札価格調査情報について】 特に意見なし			

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>【抽出事案について】</p> <p>1 [築城（6）簡易駐機施設新設建築工事]（一般競争入札（基準額以上））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模な工事にもかかわらず1者応札となった理由を説明していただきたい。 ・ 今後の発注にあたり、どのような工夫をしていくかを教えていただきたい。 <p>2 [竹松（6）構内道路新設等土木工事]（一般競争入札（基準額</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事の施工場所は福岡県築上郡築上町であり、2者の応募があったうち1者が辞退している。 築城基地での工事の場合、福岡市から比較的近郊のため、多くの参加があるのが通例であるが、本工事の内容は、鉄骨の骨組みを構築し電磁波を遮断する膜を用いてテントのような屋根を被せるものであり、九州局管内で発注した実績がなかった内容の工事だったため、参加業者が少なかったのではないかと考えられる。 また、本工事は9月に契約締結したものの、11月に築城基地航空祭を実施しており、開催中の工事施工ができないため技術者の専任配置期間を2月からに設定し、その分工期を長めに設定していたが、業者の立場からすれば技術者の専任義務があることで他の工事に配置できなくなるため、そういったことも参加業者が少なかった要因の1つではと考えられる。 ・ 昨今の技術者不足という状況のなか、業者にとって利益率が高く人気が高い都市部の工事から先に発注したほうが、業者間での競争性が高くなり、1者応札のような事態を防げるのではと考えている。 また、不調・不成立となった事案を再公告する場合においても、工期を適切に設定し、技術者の専任期間を短くする工夫を行っているところである。

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>未満))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落札率が高い理由を説明していただきたい。 ・ 評価基準のうち、「配置予定技術者の能力」については、どのような評価を行うのか。 <p>3 [新田原（6）施設最適化総合設計に係る技術協力業務]（公募型プロポーザル方式）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の最適化事業において、技術提案・交渉方式（以下「ECI方式」という。）を採用した理由を説明していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事は単純な舗装工事が内容の殆どを占めており、積算単価等が事前に公表されているものが多くを占めているため、約99%という高い落札率になったのではと考えている。 入札者から提出された内訳明細書と当局の積算金額を比較すると、直接工事費の各項目において、積算金額に近い又は若干高い金額で見積をしており、共通仮設費以下の経費部分で調整しているのではと推察される。 また、本工事は総合評価落札方式であり、最も安価な入札者ではなく、評価値が最も高い者が落札者となっていることも要因の1つであると考えられる。 ・ 本工事は総合評価落札方式のうち「施工能力評価型」としており、「配置予定技術者の能力」の項目においては配置予定技術者の資格、過去の施工経験及び施工実績、優秀業務技術者顕彰及び難工事の実績等といった評価を行っている。 ・ ECI方式は、発注者が工事仕様の前提となる条件を確定することが困難な場合に採用する方式である。 今回の最適化事業は、それぞれ個別の施設整備に関する仕様を確定すること自体は可能であるものの、これを短期間に集中して施工するためには、仕様の前提となる条件を確定できない早期の段階から、施工計画等を念頭に置いた技術的知見を反映させる必要がある

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優先交渉権者を1者に特定した経緯を説明していただきたい。 ・ 手続き開始の公示に、「技術協力業務の規模は4,000万円程度を想定している」と記載があるが、どのようにして算出したのか。 ・ どのようにして価格交渉を実施したのか。 ・ 業務件名に「総合設計に係る技術協力業務」とあるが、「総合設計」との対応関係を説明していただきたい。 ・ 随意契約の理由として、「本業務を履行することが可能な唯一の者」との記載があるが、あくまで「優先交渉権者」に過ぎず、他者でも履行そのものは可能なので、「唯一の者」という表現は避けた方が良くように考えられる。 ・ 評価項目として「コスト抑制を意識した課題と対応策」とあるが、具体的にどの程度コストを抑制できるのか。 	<p>ことから、ECI方式を採用したところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加業者3者に対し技術提案の提出を求め、企業、技術者の能力、技術提案を審査した上で、技術評価点が最も高い者を優先交渉権者として選定し、その者と技術協力業務の契約を締結した。 なお、技術提案の審査にあたり、中立かつ公正な立場で審査を行うため、学識経験者から評価基準や評価結果の妥当性を意見徴取したうえで、優先交渉権者を選定している。 ・ 技術協力業務の参考額については、官庁施設の設計業務等積算要領を参考に算出した。 ・ 優先交渉権者から見積を徴取したうえで予定価格を作成し、見積合わせを実施したところである。 ・ 総合設計を発注する際に、施工業者の技術的な知見、ノウハウを設計に反映させるための技術協力業務を予定している旨の記載をしている。 ・ 今後同様の発注をする際には、どのように表現するか検討していきたい。 ・ 技術協力業務の技術提案としては、多数の建物及び大規模建設工事におけるコスト抑制等について提案を求めたものであり、具体的

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>4 [熊本防衛支局（6）処分場調査]（一般競争入札（基準額未満））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処分場調査の具体的内容を説明していただきたい。 ・ この調査内容が、具体的にどのような形で反映されるのか。 ・ 毎年度発注する業務なのか。 	<p>にどのように抑制できているかは、工事を発注する際に確認していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本防衛支局の管轄となる熊本県、宮崎県及び鹿児島県において、調査対象となる駐屯地等を中心に半径30kmの範囲内で、アスファルト廃材等といった建設副産物の処理が可能な処分場の所在地、受入れ可能時間及び処分費等を調査するものである。 ・ 調査結果に基づき、改修工事や解体工事を発注する際に、参考として特記仕様書等に処分場の所在地及び受け入れ価格等を記載している。 それにより、建設工事の入札参加者が、処分費等を反映させて入札価格を算出することとなる。 ・ 処分費の相場も変動があることや、改修工事や解体工事の発注計画が毎年度異なるので、年度当初に当該年度分を発注しているところである。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	
○ 委員からの意見・質問		なし	
○ それに対する回答等			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	
3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審議概要		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件数と落札率、応札率の分析 ・契約件数と一位不動・順位不動の分析 ・低入札、不調、不成立事案の分析 	
		意見・質問	回答
○ 委員からの意見・質問		なし	
○ それに対する回答等			
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	